

NO.35 MARCHOSIAS

(略)
 愛の女神グレモリーに拾われ
 知の女神ベルフェゴールに力を与えられた
 子犬のマルコキアスは
 グレモリーの従者としてお仕えしています

The story of the 35th daemon by little kid

岡田雅代

「本日のお仕事」
 ベルフェゴールの研究室にいる
 グレモリー様に
 忘れ物を届けてください

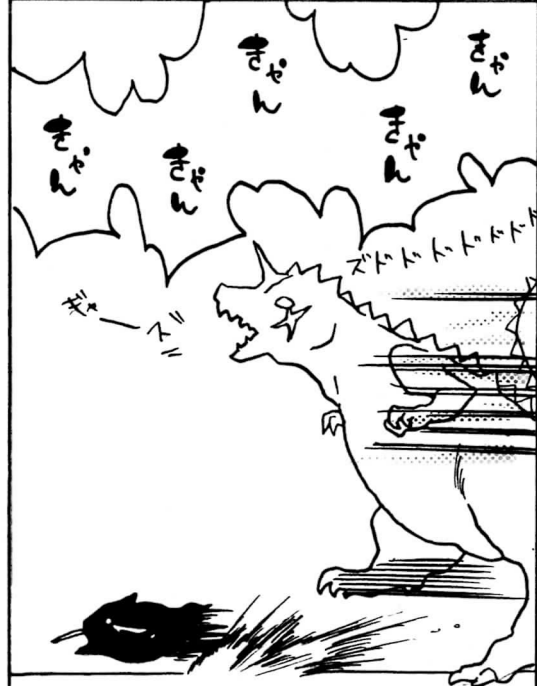
きゅんっ



そいえば
1人で魔界出歩くの
初めてだ



グレモリー ベルフェゴール
女神の力と科学の力の
両方を持つ俺は魔王にも
対抗できる力を持つって
妙に厨二的なことを
ベルフェゴール様も言ってたし！
俺やれば出来る子だし大丈夫！





やっぱムリイイイイ

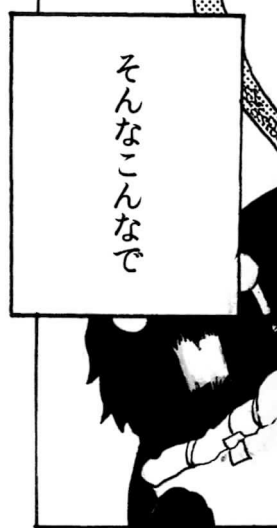
キョキョ



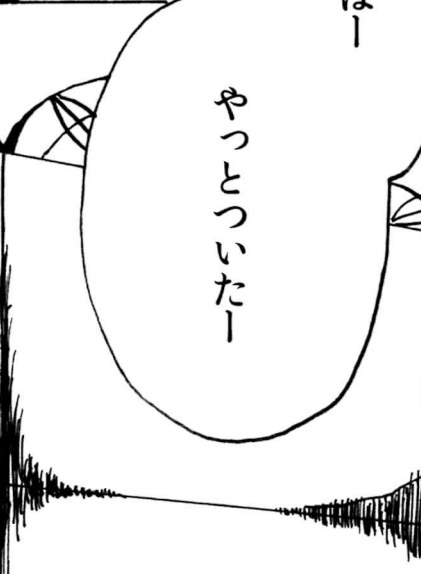
「なるね」



なんとか...



そんなこんなで



はー
やっとついたー





なんだ
本当にやればできるじゃん
俺



この壁伝いに行けば
門が出てくるはず



さっきのトカゲ!



キヤインッ

ガッ



!



届け物っ……!!



あっ



お前……

トカゲの分際で
足のつけてんじや
ねえよ

あら？
珍しいわね

マルコキアスに
くっつけてる発信器に
反応があるわ

あの子この近くで
戦ってるみたいだけど
こっちきてるの？
グレモリー

え？

忘れ物持ってくるように
頼んだんだけど
確かに遅いわねえ

大丈夫かしら
あの子臆病だから

なあんだ
じやあ心配ないでしょ

なんてつたつて
あの子に
(誰の許可も得ず頼まれもしないのに)
力を与えたのはこの私!



知恵と発明の女神にして
世界一の天才科学者(自称)
ベルフエゴール様
なんだからね!

そうね、
そのことに関しては
貴方を殴りたいと
思っているところよ
ベルフエゴール

あの子は私の持てる全
ての技術と知識の粋を
集めた最強の生物兵器
いろいろ詰め込み過ぎ
て詳しいことはぶつち
やけよく覚えてないけ
どなんやかんやで多分
殺傷能力に於いてはど
んな魔王より強いかつ
凶悪な力を備えた上
あの可愛い見た目とか
子犬まじ萌え!

まあ詳しい説明は
省くけど
要点だけかいつまんで
説明すると



大量破壊兵器
私の与えた力と
特殊燃料
貴方の与えた力を持った
あの子さえその気になれば



その辺に転がってる
野良モンスタ一なんて
物の数ではないのよ!





グレモリー姐さん

マルコキアス!
あなたその怪我……!!

!



頭とか
打たなかった?
大丈夫?

ああの遅く
予定より遅く
なっちゃって

ごめんなさ……

そんなこと
どうでもいいから
ちゃんと見せなさい

ジュン



久しぶりねマルコキアス
私あれから結構また
追加したいこととか

げふん

ゴッゴッ

この女に
近づいちゃだめよ

またおかしな
イタズラされるわよ

ちよつと!
部下に妙な誤解
招かせないでよ

マルコキアス
おつかいごころうさま

んわ

あんまり無茶しちや
だめでしょ
だからね
心配したん

んわ

んわ

んわ

姐さああああああああん

よしよし
泣かないの

こうしてマルコキアスは
2人の女神に見守られ

うるさい

データ入力中！

マルコキアス！

はあい♡

何の用ツスカ
ベルフェゴール様

何じやないわよ
挨拶と世間話ぐらい
しなさいよ
モテないわよ？

今時
ウインクとか
しちゃう人と
話が合うとは思
えません

言うように
なつたじやない
犬っコロ！





あんまり近づかないでください
姐さんに怒られるんで

ほおおお
度胸もついたみたいね
びびりのクセに!

ちよつと
あ 暴力反対...
きゃーきゃー

図体ばつかでかく
なつてんじやないわよ



あんまり
うちの子を
虐めないで
くれるかしら
ベルフエゴール

キリキリキリキリ

あの子に近づくなつて
言つてるでしょ
いい加減に
しなさいよ

科学の進歩に
犠牲はつきもの
なのよ!

じゃああなたが
自分にしなさいよ

2人の女神に見守られ
マルユキアスは今日も
健やかに成長しています。

